

## 第8期介護保険事業計画における施設整備について

## 1. 施設サービス

## (1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

## 【サービスの概要】

食事、入浴、排せつなどの日常生活の介護を中心とする、つねに介護は必要で、自宅での介護が困難な方のための施設(要介護3～介護5)

## 【整備状況】

- ・介護老人福祉施設 2施設 定員数 178名
- ・令和3年4月増加予定 1施設定員80名、短期入所生活介護からの転用 8名  
定員数 266名
- ・地域密着型介護老人福祉施設 1施設 定員数 29名

## 【現状分析】

- ・待機者数 184名(内要介護3以上 133名)
- ・うち在宅待機者 44名

## 【今後について】

第7期で整備した施設の令和3年4月の開設と合わせて、近隣市で12月以降2施設が開設されることから、一定数の待機者が解消される見込みですが、要介護3以上の待機者が133名いることから、引き続き待機人数解消に向けた対策が必要となります。

## (2) 介護老人保健施設

## 【サービスの概要】

病状の安定している方が、リハビリテーションに重点をおいた介護を受けながら、家庭への復帰を目指すための施設(要介護1～介護5)

## 【整備状況】

- ・1施設 定員数 100名

## 【現状分析】

- ・待機者数 13名

## 【今後について】

待機者は一定数いるものの、要介護3以上の特養待機者133名の内25名が老健入居者であることから、特養整備により待機者が減少すると、老健の待機人数は緩和されると考えます。

## 2. 地域密着型サービス

### (1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

#### 【サービスの概要】

介護職員と看護職員が連携し、日中・夜間を通じて1日複数回、定期的に訪問する。また、利用者からの通報や電話などに対応し、随時訪問するサービス(要介護1～介護5)

#### 【整備状況】

・事業所数 1事業所

#### 【現状分析】

・令和2年度実績 0(人/月)

#### 【今後について】

平成24年度に1施設を整備し、現在運営されているものの、利用者数が伸びていない状況にあるため、現有施設において制度を周知し、普及促進を図る必要があります。

### (2) 認知症対応型通所介護

認知症の利用者を対象に、日帰りで通所介護施設に通い、他の利用者と一緒に食事、入浴などの介護やレクリエーション、機能訓練などは受けられるサービス

#### 【整備状況】

・事業所数 1事業所

#### 【現状分析】

・令和2年度実績 13(人/月)

#### 【今後について】

認知症高齢者の増加に対応する施設として有効であると考えます。利用者数に余裕があることから充足しているとみられます。

### (3) 小規模多機能型居宅介護

利用者の状態や選択に応じて、通所を中心に、訪問、宿泊を組み合わせたサービスが受けられるサービス(要支援1～介護5)

#### 【整備状況】

・事業所数 3事業所

#### 【現状分析】

・令和2年度実績 29(人/月)

#### 【今後について】

第7期(令和2年)に2施設を整備し、現在運営されていますが、新規施設では利用者が伸び悩んでいます。サービスを調整するケアマネジャーに対して、研修を実施し、利用の促進を進めています。24時間対応型で「施設から在宅へ」の実現に向け必要となるサービスであり、定期巡回とともに地域包括ケア構築において重要なサービスです。

#### (4) 看護小規模多機能型居宅介護

医療ニーズの高い利用者に対応するため、小規模多機能型居宅介護と訪問看護の機能を備え、通所、訪問(介護・看護)、宿泊サービスを柔軟に提供するサービス(要介護1～介護5)

##### 【整備状況】

- ・市内                   なし
- ・県内                   3事業所(大津1、草津1、彦根1)

##### 【今後について】

医療的ケアの必要な方が24時間対応の在宅サービスを受けるため、整備を進める必要はありますが、定期巡回と小多機の普及促進を優先し、今後、整備を検討します。

#### (5) 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

##### 【サービスの概要】

認知症の利用者が、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、日常生活上の支援や介護を受けながら共同で生活するサービス(要支援2～介護5)

##### 【整備状況】

- ・3施設                   定員数   54名

##### 【現状分析】

- ・待機者数                   34名

##### 【今後について】

第6期(平成29年)に1施設(18名)を整備しました。待機者数は一定数あるものの、要介護3以上の特養待機者133名の内8名がグループホーム入居者であることから、介護老人福祉施設を充実させたことで、待機者は若干緩和される見込みです。今後、整備を検討します。

#### (6) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム)

##### 【サービスの概要】

入所定員29人以下の小規模な介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所し、日常生活上の支援や介護が受けられるサービス(要介護3～介護5)

##### 【整備状況】※1.(1)の内数

- ・1施設                   定員数   29名

##### 【現状分析】

- ・待機者数                   35名(内要介護3以上   35名)

##### 【今後について】

第6期(平成29年)に1施設(29名)を整備しました。市内介護老人福祉施設の市民が占める割合が他市に比べ、低い状況です。小規模特養の整備は、定員数が29名と少数ですが、市民が確実に入居できるため、待機人数解消に有効です。